

缶バッジ販売しています

昨年、同窓生の西山佳歩さんがデザインした、九里とみ先生をモチーフにしたキャラクター「とみちゃん」が缶バッジとして登場しました。デザインは三種類。「礼」と「譲」をあしらったものと、多くの方に馴染みのある松葉と梅の校章を髪飾りにしたとみちゃんの横顔です。同窓会総会や九里祭で販売していきます。また、学校でもカフェにて取り扱っておりますので、是非お求めください。価格は、一個百円です。



アトリエ風に

長岡先生遺作展

24年 11月

平成二十四年十一月十三日から一週間、九里学園教育センターホール二階を会場に、平成二十三年七月に亡くなられた長岡直浩先生の遺作展が開催されました。先生のお好きだったジャズが流れ、アトリエ風に作られた会場には平日頃から描いていらした大作がところ狭しと並び、その一角にはご指導された同窓生の作品も多数展示され、会場に彩りを添えていました。会期中、沢山の方々に足をお運びいただきました。最終日には近くの招湯苑に会場を移して、先生に想いを馳せながら、偲ぶ会が催されました。



加藤和夫先生
御逝去(享年八十二歳)

加藤和夫先生が平成二十四年八月二十日に逝去されました。

先生は昭和三十二年から平成四年までの三十五年間社会科の先生、また、教頭・校長先生として九里学園高校を支えてこられました。小さな生徒集団で自治が出来るブロック制。一人一人の特性を伸ばす「自主研究」を課題とするなど、私学教育の魁となる試みを先生方とともに推進してこられました。

「退職したらキャンピングカーで全国にいる卒業生を訪ねる旅をしたい。」とっておられました。しかし、糖尿病との長い闘病生活となられ逝去されました。ご教授に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



¥1,200

[米沢学事始
上杉鷹山の訓え]
遠藤 英 著

鷹山の改革は、実学を基として未来を見通す力があつたという。九里の教育思想も織り込んで語られています。同窓生の皆様是非読んでみて下さい。市内書店・観光施設にてお求め下さい。

編集後記

さだまさしの「案山子」という曲を知っていますか？遠くに暮らす弟を案じて作られたものですが、送り出す側の心境に共感し歌詞の一つ一つにうなずいてしまいます。

今年は二百余名が母校を巣立ち、社会へと旅立っています。それぞれが夢に向かい力強い一歩を踏み出して欲しいものです。

アドレス <http://all-kunori.net/>
投稿はメール、封書、はがきでお送り下さい。
(1)メールあて先
dousou@tw.kunori-ed.jp
(2)封書、はがき(表紙の住所を、覧下さる)



★校舎の南側、体育館の西にありました「洗心亭」が老朽化により解体され、駐車場になりました。ご利用ください。

★同窓生の集い(総会)は、6月29日(土)です。

その運営当番は卒業年が4と5のつく学年 昭和34、35、44、45、54、55、平成4、5、14、15、24、25年です。

詳しくは別紙を参照の上、申し込みいただきますようご案内いたします。また、左記アドレスからもお申込みいただけますのでご利用ください。

ねんわく板

